

Title	前多康男教授略歴・主要業績
Sub Title	Biographical sketch and selected scholarly achievements of professor Yasuo Maeda
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	2025
Jtitle	三田学会雑誌 (Mita journal of economics). Vol.117, No.3 (2025. 2) ,p.543 (277)- 548 (282)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-20250201-0277

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

前多 康男 教授 略歴・主要業績

* 2025年3月31日をもって慶應義塾大学
経済学部を定年退職するのにもない、
本学会を退会する会員の略歴・主要業績を
次頁以下に掲載します。

本誌編集委員会

前多 康男 教授 略歴・主要業績

研究領域

マクロ経済学, 貨幣経済学, 金融論, ファイナンス

略歴

学 歴

1982 年 慶應義塾大学経済学部卒業
1984 年 慶應義塾大学大学院経済学研究科修士課程修了
1990 年 ミネソタ大学経済学研究科博士課程修了
1990 年 Ph.D (Economics) University of Minnesota

職 歴

1990 年～1994 年 国際大学大学院国際関係学研究科専任講師
1994 年～2001 年 大阪大学学院経済学研究科助教授
2001 年～2002 年 大阪大学大学院経済学研究科教授
2002 年～2025 年 慶應義塾大学経済学部教授

塾内役職

2009 年～2011 年 大学経済学部学習指導主任
2012 年～2017 年 大学経済学部カリキュラム委員長

塾外役職

2002 年～2004 年 金融庁 金融コングロマリット研究会座長
2004 年～2005 年 財務省財務総合政策研究所 資金循環における市場型間接金融の役割に関する研究会委員
2005 年～2006 年 全国銀行協会 金融調査研究会委員
2005 年～2006 年 産業構造審議会 産業金融部会委員

2005 年～2006 年 日本銀行信用機構局 金融システム懇談会委員
2005 年～2006 年 経済産業省 ABL 研究会委員
2005 年～2008 年 不動産鑑定士試験委員
2008 年～2011 年 会計士試験委員
2010 年～2024 年 信託協会 信託経済研究会委員
2011 年～2015 年 政策評価独立行政法人 評価委員会委員
2016 年～2018 年 会計士試験委員

受賞歴

2014 年 日経ストックリーグ NOMURA Award（特別協賛社賞）

主要業績

主要論文（単著）

“Fiat Money in a Pairwise-Trading, Multi-Good, Overlapping Generations Model”, *Journal of Economic Theory*, Vol. 54, No. 1, 84–97, (1991).
“An Overlapping Generations Model with a Storage Technology”, *Journal of Economic Theory*, Vol. 57, No. 1, 237–244, (1992).
“Inside Money, Outside Money, and Output”, *Economic Studies Quarterly*, Vol. 45, No. 2, 141–158, (1994).
“Comment on ‘What is the Coase Theorem?’ by Leonid Hurwicz”, *Japan and the World Economy*, Vol. 7, 75–78, (1995).
“Textile Industry”, in *Japan’s Industrial Technology Development*, 177–201, Tokyo: Springer, (1999).

主要論文（共著）

“A Bank Panic Model with a Bond Market”, *Japanese Economic Review*, Vol. 49, No. 4, 440–453, (1998).
“Is Aging Harmful to the Environment?”, *Environmental and Resource Economics*, Vol. 20, No. 2, 113–127, (2001).
“Pareto Improving Environmental Policies in an Overlapping Generations Model”, *Japanese Economic Review*, Vol. 53, 211–225, (2002).

- “Sustainable Development in an Aging Economy”, *Environment and Development Economics*, Vol. 7, 9–22, (2002).
- “Health Status Risks and an Efficiency of Social Security Systems”, *Japanese Economic Review*, Vol. 53, 350–367, (2002).
- “On the Index of Environmental Awareness”, *Environmental Economics and Policy Studies*, Vol. 5, 167–178, (2002).
- “The Effect of Solvency Regulation to a Bank”, *Japan and the World Economy*, Vol. 16, 163–191, (2004).
- “Simple Framework for Analyzing Monetary System”, *Keio Economic Studies*, Vol. 41, 27–36, (2004).
- “Microeconomic Foundation of LLR from the Viewpoint of Payment”, *Japanese Economic Review*, Vol. 59, No. 2, 178–193, (2008).
- “Long-run Neutralized Effects of International Transfers on the Environment”, *Keio Economic Studies*, Vol. 48, 1–20, (2012).

主要論文（邦文，単著）

- 「我が国の金融システムと市場型間接金融－銀行の債権譲渡に関する一考察－」, 『三田学会雑誌』, 99 巻 4 号, 221–238 頁, 2007 年.
- 「わが国の金融市場における市場規律活用の可能性について」, 『金融研究』, 28 巻 1 号, 23–46 頁, 2009 年.
- 「決済ネットワークに関する考察－セルオートマトンによる分析－」, 『三田学会雑誌』, 111 巻 1 号, 81–87 頁, 2018 年.
- 「MMT 再考」, 『三田学会雑誌』, 112 巻 3 号, 347–355 頁, 2019 年.
- 「決済の理論モデル」, 『三田学会雑誌』, 114 巻 1 号, 101–111 頁, 2021 年.
- 「貨幣と債券についての理論的考察」, 『三田学会雑誌』, 115 巻 1 号, 97–106 頁, 2022 年.
- 「テキストマイニングによる繊維産業の企業経営分析」, 『三田学会雑誌』, 115 巻 2 号, 171–210 頁, 2022 年.
- 「ニューラルネットワークを用いたテキストデータによる株価予測の試み」, 『三田学会雑誌』, 115 巻 4 号, 403–411 頁, 2023 年.
- 「世代重複モデルと分散市場」, 『三田学会雑誌』, 116 巻 1 号, 87–95 頁, 2023 年.
- 「情報と資産価格～株価の予測と人工知能」, 『三田学会雑誌』, 117 巻 1 号, 1–23 頁, 2024 年.

主要論文（邦文，共著）

- 「年金，早期退職，貯蓄」, 『季刊社会保障研究』, 37 巻 4 号, 360–370 頁, 2002 年.
- 「金融コングロマリットと範囲の経済－理論と実証－」, 『三田学会雑誌』, 98 巻 4 号, 137–153 頁, 2006 年.

「環境汚染に対する貸し手責任：理論的分析」、『金融研究』，27 卷 2 号，111–117 頁，2008 年．

単 著（書籍所収）

「交換媒体としての貨幣」，（『日本経済分析のフロンティア』，有斐閣 所収），207–225 頁，1993 年．

「資源の最適配分」，（『ミクロ経済学の基礎』，有斐閣 所収），145–163 頁，1993 年．

「狭義銀行制度の効率性について」，（『現代の金融と政策』，日本評論社 所収），247–271 頁，2000 年．

「複線型金融システムに向けての市場型間接金融の活用」（『市場型間接金融の経済分析』，日本評論社 所収），241–267 頁，2006 年．

「企業と銀行」（『社会と銀行』，放送大学教育振興会 所収），106–117 頁，2010 年．

「デリバティブー新しい金融手法の発達」（『社会と銀行』，放送大学教育振興会 所収），179–192 頁，2010 年．

共 著

「貨幣とは何か」，（『入門・金融』，有斐閣 所収），255–280 頁，1996 年．

『金融機能と規制の経済学』，東洋経済，2001 年．

『新しい金融理論』，有斐閣，2003 年．

『金融システムの経済学』，東洋経済，2004 年．

『入門 金融論』，ダイヤモンド社，2004 年．

『金融論をつかむ』，有斐閣，2006 年．

『金融論』，培風館，2011 年．

『経済原論』，慶應義塾大学出版会，2018 年．